OpenRTM-aist (Python) - 機能 #3401

②　ネームサービス操作関数セットの実装

2015/12/22 09:43 - n-ando

ステータス:	終了	**開始日:**	2015/12/22
優先度:	通常	**期日:**	2016/03/25
担当者:	miyamoto	**進捗率:**	100%
カテゴリ:		**予定工数:**	30.00時間
対象バージョン:	RELEASE_1_2_0		

説明

ネームサービスにコンポーネント内部から、あるいはマネージャの拡張モジュールなどからアクセスし、登録されているRTCを取得する仕組みを実装すること。

関係しているリビジョン

リビジョン 667 - 2016/02/26 19:24 - miyamoto

[compat,->RELENG_1_2] add string_to_component() to NamingOnCorba. refs #3401

リビジョン 674 - 2016/02/27 16:51 - miyamoto

[compat,bugfix,->RELENG_1_2] The bug of NamingOnCorba.string_to_component() has been fixed. refs #3401.

履歴

#1 - 2016/01/14 16:15 - miyamoto

- 期日 を 2016/03/25 にセット

- 担当者 を miyamoto にセット

- 対象バージョン を RELEASE_1_2_0 にセット

- 進捗率 を 0 から 20 に変更

- 予定工数 を 30.00時間 にセット

#2 - 2016/02/27 17:22 - miyamoto

- ファイル test_Manager_Servant_new.py を追加

以下の指定方法でネーミングサービス上のRTCのオブジェクトリファレンスを取得する機能を実装した。

rtcname://localhost:2809/test.host_cxt/RTC0
rtcname://localhost/test.host_cxt/RTC0
rtcname://localhost/RTC0

また以下のように記述する事で途中のコンテキストを無視してインスタンス名だけで検索する事ができる。

rtcname://localhost:2809/*/RTC0

ホスト名を*と記述することでrtc.confのcorba.nameserversで指定したネーミングサービスから取得する。

rtcname://*/test.host_cxt/RTC0

#3411の機能と同じく、NamingManagerのstring_to_component関数で取得できる。

この機能の実装のために、NamingOnCorbaクラスにstring_to_component関数を追加した。

添付のコードでテストを行った。

まず別プロセスで起動したRTCのオブジェクトリファレンスを取得できるかを確認した。

rtcname://localhost/test.host_cxt/TestComp20

次にホスト名を省略してRTCのオブジェクトリファレンスを取得できるかを確認した。

rtcname://*/test.host_cxt/TestComp20

そして途中のコンテキスト名を省略してRTCのオブジェクトリファレンスを取得できるかを確認した。

rtcname://*/*/TestComp20

#3 - 2018/01/19 18:34 - n-miyamoto

- ステータス を 新規 から 解決 に変更

- 進捗率 を 20 から 100 に変更

#4 - 2018/09/13 09:21 - n-miyamoto

- ステータス を 解決 から 終了 に変更

ファイル

test_Manager_Servant_new.py	4.93 KB	2016/02/27	miyamoto